

科目名 (科目番号)	公衆衛生 看護学実習Ⅰ (産業・学校保健) (時間割参照)	教員名	長堀智香子 鈴木悠圭	学科等	看護	選択	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各教員研究室	
授業概要	学校保健や産業保健の活動の場を通して、産業看護職・学校看護職の役割を理解し、職場生活集団および学校生活集団の健康を守るための実践能力を養う。							
目的・目標	実習目的 1. 学校の組織構造、機能、健康に関わる組織とその機能、学校保健で特徴的な養護教諭の役割を学ぶ。 2. 事業場の組織構造、機能、健康に関わる部署や組織とその機能、産業保健で特徴的な保健師の役割を学ぶ。							
準備学習								
授業計画	授業項目			到達目標・学習内容				
	到達目標 1. 学校における保健管理活動、保健教育活動を説明できる。 2. 養護教諭の職務と役割、保健室のあり方を説明できる。 3. 組織における産業保健の位置づけ、活動体制、健康管理に関わる職場内外の関係者や組織、機関の役割を説明できる。 4. 事業所で実施されている健康管理に関わる活動について説明できる。							
	学習内容、方法 1. 茨城県内の学校にて、学校における保健管理活動、保健教育活動、養護教諭の職務と役割、保健室のあり方等を学ぶ。 2. 茨城県内の事業所にて、組織における産業保健の位置づけ、活動体制、健康管理に関わる職場内外の関係者や組織、機関の役割、事業所で実施されている健康管理に関わる活動等を学ぶ。 3. 公衆衛生看護学実習Ⅰでの学びをレポートにまとめる。							
成績評価の方法・基準	事前学習10%、実習記録70%、レポート20%、オンライン時は一部変更することがあります。							
教科書								
参考図書	必要時、紹介する							
教員からのメッセージ	実習は評価表を用いて評価します。 行政等で勤務した保健師がこの授業を担当します。							